

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E112F018		哲学概論 (Philosophic Outlines)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部 ≪令和2年度 以降入学生用 ≫		金2	日本語		単独						
担当教員	氏名 黒 川 勲													
	E-mail kurokawa-isao@oita-u.ac.jp 内線 7525													
授業の概要	本授業は社会科学に関する教員免許取得のための授業です。そのため、教科に関する確実な専門的知識の修得や教科指導を的確に実践するための、哲学に関する一般的・包括的な内容について講義します。まず、中学校学習指導要領に見られる哲学的テーマに関連づけて「哲学とは何か」について学びます。続いて、哲学史を古代・中世・近世・近代・現代に時代的に区分して、それぞれの時代の哲学の課題と展開の概要とともに、主要な哲学者の思想内容についての基本的な知識の習得を行います。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 哲学及び哲学的テーマに対する関心・意欲を高めた上で、教員として使命を持って授業を担当できる力量を形成する。									○					
目標2 中学校社会科学の授業を遂行するために必要な哲学に関わる知識を身に付けている。									○					
目標3 哲学的テーマを授業で扱うために必要な教授方法を理解している。									○					
目標4 教材となる様々な資料を多面的・多角的に収集・分析し、哲学的テーマを扱う有効な授業を実施できる。									○					
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)									10					
授業の内容														
1 哲学とは何か・中学校学習指導要領に見られる哲学的テーマ														
2 古代ギリシャ哲学の課題と展開の概要														
3 古代ギリシャ哲学の展開1(ミレトス、エレア、多元論者)														
4 古代ギリシャ哲学の展開2(ソクラテス、プラトン、アリストテレス)														
5 中世哲学の課題と展開の概要														
6 中世哲学の展開1(キリスト教とアウグスティヌス)														
7 中世哲学の展開2(アンセルムスとトマス)														
8 近世哲学の課題と展開の概要														
9 近世哲学の展開1(デカルト)														
10 近世哲学の展開2(ロックとヒューム)														
11 近代哲学の課題と展開の概要														
12 近代哲学の展開(カント)														
13 現代哲学の課題と展開の概要														
14 現代哲学の展開1(現象学)														
15 現代哲学の展開2(実存哲学)														
ラーニング目標	A:知識の定着・確認		○教員が一方的に話すだけにならないように、学生に意見を述べてもらう		工夫その他の									
	B:意見の表現・交換		○場面を頻繁に設ける。また、学生による報告及び討議の時間を設ける。											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		哲学・倫理学の問題意識、解決への思考、用語を理解し習得するためには困難がともないます。毎授業の概要及び講義中に理解のポイントをしますので、授業の準備のために事前に確認・整理を行って下さい。(15h)											
	事後学修		毎授業の概要及び講義中に理解のポイントをしますので、中間課題・レポート作成等のために文献調査・整理を行って下さい。(30h)											
	想定時間合計		45											
教科書	特になし													
参考書	中学校学習指導要領(平成29年3月公示, 文部科学省) 中学校学習指導要領解説社会編(平成29年6月, 文部科学省) また授業の際は、理解のポイント・参考書・課題等を記した授業概要(A4 1枚)を毎回配布します。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	中間課題（AL・時間外学習の成果を含む		50%	○	○	○	○						
	期末レポート（AL・時間外学習の成果を含む		50%	○	○	○	○						
注意事項	特になし												
備考	特になし												
リンク													
	URL												